

作成日 2008年03月03日

改訂日 2011年01月05日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	甲殻類キット「マルハ」
製品コード	20551
会社名	株式会社マルハニチロ食品
住所	東京都江東区豊洲 3-2-20
担当部門	化成食品事業部
電話番号	03-6833-4178
Fax 番号	03-6833-0092

製品に含まれる主な化学物質の安全性に関する情報

トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン
塩化ナトリウム
ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート
プロクリン
3,3',5,5'-テトラメチルベンジジン
過酸化水素水
硫酸
ドデシル硫酸ナトリウム
2 -メルカプトエタノール

なお、キットには動物由来タンパク質が含まれています。これらは正常な動物より得られたものですが、現在は完全にその感染性を否定する方法がありません。そこで、本キットの取り扱いに関しましては、貴施設のバイオハザード対策基準に従い取り扱いを行ってください。

製品名 トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン

組成及び成分情報

化学名 : トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン

成分及び含有量 : F検体希釈液 100mL中0.24%、G洗浄液100mL中2.42%

その他A抗体固相化プレート、B標準品、H抽出試薬 に含有

化学式又は構造式 : $(\text{HOCH}_2)_3\text{CNH}_2$

官報公示整理番号 : 化審法: 2 - 318

安衛法: -

CAS No. : 77 - 86 - 1

国連分類 : 該当せず

国連番号 : 該当せず

危険・有害性の要約

GHS分類 : 分類できない。

他の危険有害性情報

危険性 : 通常の状態では、特に危険性はない。

有害性 : 結晶状態では有害性はほとんど無いが、弱いものと思われる。水溶液はアルカリ性を呈し、皮膚、粘膜などを刺激し、炎症をおこすことがある。

環境影響 : 魚毒性は低いが大量に河川等に流出されないように注意すること。

応急措置

目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗う。医師の手当てを受ける。

皮膚に付いた場合 : 触れた部分を水で洗い流す。刺激等が残る場合は医師の手当てを受ける。

吸入した場合 : 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせようとせず水を飲ませ医師の手当てを受ける。

火災時の措置

消火方法 : 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

消火剤 : 水、粉末、泡、炭酸ガス 等

漏出時の措置

飛散したものはかき集めて、容器に回収する。

その後、残りは多量の水で洗い流す。

取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 丁寧に扱い、落下破損の起こらないように気をつける。

保管 : 直射日光を避け、冷暗所に保管する。使用後の容器は密封のこと。

暴露防止措置

管理濃度 : 設定なし。

許容濃度 : 日本産業衛生学会 ; 設定なし。

ACGIH ; 設定なし。

設備対策 : ほこりやミストの発生箇所では、局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具 : 保護眼鏡、ゴム手袋、防塵マスク

物理 / 化学的性質

外観 : 白色の結晶。水溶液はアルカリ性を呈する。

臭気 : 無臭

融点 : 171 ~ 173

沸点 : 219 ~ 220 / 10 mmHg

溶解性 : 水によく溶け[80g/100mL(20)]、メタノール、エタノール等にやや溶けるが、クロロホルム、ヘキサン等には難溶。

引火点 : データなし。

発火点 : データなし。

安定性及び反応性

燃焼範囲 : データなし。

可燃性 : あり。

酸化性 : なし。

安定性・反応性 : 通常の実験条件で安定。

有害性情報

皮膚腐食性: データなし。

刺激性(皮膚、眼)

: 皮膚、眼の粘膜などに対し、水溶液はわずかに刺激性がある。

感作性 : データなし。

急性毒性 (50%致死量等を含む):

:経口(ラット) LD₅₀ 5900 mg/kg
静脈(ラット) LD₅₀ 1800 mg/kg
(マウス) LD₅₀ 1210 mg/kg

亜急性毒性:データなし。

慢性毒性 :データなし。

がん原性 :データなし。

変異原性(微生物、染色体異常)

:データなし。

生殖毒性 :データなし。

催奇形性 :データなし。

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)

:なし。

環境影響情報

分解性 :データなし。

蓄積性 :データなし。

魚毒性 :LC₀ 10,000 ppm (Leuciscus)

廃棄上の注意

可燃性溶剤に溶かし、アフターバーナー及びスクラパーを備えた焼却炉で少量ずつ焼却処理する。

輸送上の注意

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷のないよう積載し、荷崩れを防止する。

適用法令

該当なし。

その他

* 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の値は保証値ではありません。

* 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。

製品名 塩化ナトリウム

組成及び成分情報

化学名 : 塩化ナトリウム

成分及び含有量 : F検体希釈液100mL中0.9%、G洗浄液100mL中9%

その他A抗体固相化プレート、B標準品に含有

化学式又は構造式 : NaCl

官報公示整理番号 : 化審法 ; 1 - 236

安衛法 ; -

CAS No. : 7647 - 14 - 5

国連分類 : 該当せず。

国連番号 : 該当せず。

危険・有害性の要約

GHS分類 : 分類基準に該当せずまたは分類できない。

他の危険有害性情報

危険性 : 不燃性であり、特に危険性はない。

有害性 : 有害性は特になし。

環境影響 : なし。

応急措置

目に入った場合 : 直ちに清水にて十分洗浄する。

皮膚に付いた場合 : 水にてよく洗浄する。

吸入した場合 : うがいをする。

飲み込んだ場合 : 多量に飲んだ場合、吐き出させ、異常がある場合は医師の手当を受ける。

火災時の措置

消火方法 : 本品は不燃性である。

周辺火災の場合、容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合容器の周辺を水で冷やす。

消火剤 : 水、粉末、泡、炭酸ガス 等

漏出時の措置

空容器にできるだけ回収し、その後、多量の水で洗い流す。

取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い : 適切な保護具を着用し取り扱う。
保管 : 直射日光、高温多湿を避け、密封保管する。

暴露防止措置

- 管理濃度 : 設定なし。
許容濃度 : 設定なし。
設備対策 : -
保護具 : 保護眼鏡、ゴム手袋、防塵マスク

物理 / 化学的性質

- 外観 : 無色～白色の結晶性粉末。
比重 : 2.163
融点 : 800
沸点 : 1413
溶解性 : 水に可溶[35.8g/100mL(20)]。エタノールには難溶。
引火点 : 不燃性。
発火点 : 不燃性。
燃焼範囲 : 不燃性。

安定性及び反応性

- 安定性・反応性 : 通常条件下で安定。
塩であることから、金属類への腐食性がある。
その他 : やや吸湿性。

有害性情報

- 皮膚腐食性 : データなし。
刺激性(皮膚、眼) : skn-rbt 50 mg/ 24H MLD
eye-rbt 100 mg/ 24H SEV
感作性 : データなし。
急性毒性(50%致死量等を含む):
経口(ヒト) TDL₀ 12357 mg/kg
(ラット) LD₅₀ 3000 mg/kg
(マウス) LD₅₀ 4000 mg/kg
腹腔(マウス) LD₅₀ 6614 mg/kg

静脈(マウス) LD₅₀ 645 mg/kg

一時に多量の塩化ナトリウムを服用すると、消化管を強く刺激し、高ナトリウム血症、鬱血性心不全、浮腫などを起こすことがある。

亜急性毒性:データなし。

慢性毒性 :データなし。

がん原性 :データなし。

変異原性(微生物、染色体異常)

:データなし。

生殖毒性 :ori-rat TDL0 145 g/kg (7Dpre/1-22D preg)

ipr-rat TDL0 1710 mg/kg (13D preg)

催奇形性 :データなし。

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)

:なし。

環境影響情報

分解性 :データなし。

蓄積性 :データなし。

魚毒性 :水生生物毒性 TLm96: over 1000 ppm

廃棄上の注意

多量の水で希釈し廃棄する。

輸送上の注意

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷のないよう積載し、荷崩れを防止する。

適用法令

該当なし。

その他

* 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の値は保証値ではありません。

* 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。

製品名 ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート

組成及び成分情報

化学名 : ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート

成分及び含有量 : F 検体希釈液100mL中0.05%、G 洗浄液100mL中0.5%

その他B標準品、H抽出用試薬に含有

化学式又は構造式 : $C_{11}H_{23}COOC_6H_8[O(CH_2CH_2O)_nH]_3$

官報公示整理番号 : 化審法 ; (8) - 5 5

安衛法 ; -

CAS No. : 9005 - 64 - 5

国連分類 : 該当せず

国連番号 : 該当せず

危険・有害性の要約

GHS分類 : 分類基準に該当せずまたは分類できない。

他の危険有害性情報

危険性 : 高温で引火性を有する液体。

有害性 : 眼に入った場合、一時的刺激はあるが有害性は弱い。皮膚に付いた場合、特に有害性の指摘例はない。

応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼した後、速やかに眼科医の手当を受ける。洗浄はまぶたを親指と人差し指で拡げ同時に眼をあらゆる方向に動かす。

皮膚に付いた場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、接触部を石けんで十分洗浄し、皮膚に炎症を生じた場合には、速やかに医師の手当を受ける。

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のところに移し、保温して安静にさせ、速やかに医師の手当を受ける。呼吸が停止している場合には人工呼吸を行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行う。

飲み込んだ場合 : 意識のある場合には、食塩水等を飲ませ吐かせた後、速やかに医師の手当を受ける。もし意識のない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。

周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火剤 : 水、粉末、泡、炭酸ガス 等

漏出時の措置

漏洩したものは、密栓式の空容器に出来るかぎり回収し、その後多量の水で洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。その際は必ず保護具を着用し、風上から作業する。

取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 吸い込んだり、皮膚、眼及び衣服に触れないように、適切な保護具を着用する。取扱い後は手洗い等を十分に行う。

保管 : 直射日光を避け、密栓して冷暗所保管する。

暴露防止措置

管理濃度 : 設定なし。

許容濃度 : 日本産業衛生学会 ; 設定なし。

ACGIH ; 設定なし。

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置に明瞭に表示する。

保護具 : 状況に応じて保護眼鏡、ゴム手袋、防塵マスクなどを使用する。

物理 / 化学的性質

外観 : 黄褐色液体で、わずかに特異臭あり。

比重 : 1.11 (30/4)

融点 : -5 以下

沸点 : 200 以上

粘度 : 330cSt (25)

溶解性 : 水に可溶、石油系溶剤類に不溶。

引火点 : 270

発火点 : -

燃焼範囲 : -

安定性及び反応性

アルカリ性物質と加熱すると分解をおこす。本品を含浸した布類を熱源のそばに長期間

放置すると、蓄熱して自然発火を起こす恐れがある。

有害性情報

皮膚腐食性：データなし。

刺激性(皮膚、眼)：眼 無刺激ないし軽い一過性刺激にとどまる。

皮膚 一時刺激及びアレルギー反応ともになし。

感 作 性 : データなし。

急性毒性 (50%致死量等を含む)：

: データなし。

亜急性毒性：データなし。

慢性毒性 : データなし。

がん原性 : データなし。

変異原性(微生物、染色体異常)

: データなし。

生殖毒性 : データなし。

催奇形性 : データなし。

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)

: なし。

環境影響情報

分解性 : 易生分解性。

蓄積性 : データなし。

魚毒性 : データなし。

廃棄上の注意

開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。

輸送上の注意

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷のないよう積載し、荷崩れを防止する。

適用法令

消防法 : 第9条の3、施行令別表4指定可燃物 可燃性液体類

PRTR法 : 該当せず。

その他

* 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の値は保証値ではありません。

* 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。

製品名 プロクリン950

組成及び成分情報

化学名 : 2 - メチル - 4 - イソチアゾリン - 3 - オン
成分及び含有量 : F検体希釈液100mL中0.05%
その他A抗体固相化プレート、B標準品に含有
化学式又は構造式 :
官報公示整理番号 : 化審法 ; (5) - 5 2 3 5
安衛法 ; -
CAS No . : 2 6 8 2 - 2 0 - 4
国連分類 :
国連番号 : 1 7 6 0

危険・有害性の要約

GHS分類 : 分類基準に該当せずまたは分類できない
他の危険有害性情報
危険性 : Rohn and Haas社危険等級 : 健康危険性3 (重度)
有害性 : 腐食性

応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼した後、速やかに眼科医の手当を受ける。コンタクトレンズを外して洗顔する
皮膚に付いた場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、非常用シャワーを浴びる。接触部を石けんで十分洗浄し、皮膚に炎症を生じた場合には、速やかに医師の手当を受ける。
吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のところに移す。呼吸が停止している場合には人工呼吸を行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行い、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 : 意識のある場合には、食塩水等を飲ませ吐かせた後、速やかに医師の手当を受ける。もし意識のない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合

には、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火剤 : 水、粉末、泡、炭酸ガス 等

漏出時の措置

漏洩したものは、回収や廃棄のために直ぐに土、砂などの不活性物で封じ込めること。その後水の10%の重亜硫酸ナトリウムの溶液で洗浄する。30分後、洗浄廃水を化学処理設備へ洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。その際は必ず保護具を着用し作業する。

取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 本品は腐食性である。吸い込んだり、皮膚、眼及び衣服に触れないように、適切な保護具を着用する。取扱後は手洗い等を十分に行う。

保管 : 換気の良い場所に保管する。ステンレスで作られた容器で保存しないこと。

暴露防止措置

管理濃度 : 設定なし。

許容濃度 : 日本産業衛生学会 ; 設定なし。

ACGIH ; 設定なし。

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置に明瞭に表示する。

保護具 : 状況に応じて保護眼鏡、ゴム手袋、防塵マスクなどを使用する。

物理 / 化学的性質

外 観 : 刺激臭のある琥珀色透明の液体。

比 重 : 1.2

融 点 : -21 以下

沸点 : 100

粘度 : 5 cps (23)

溶解性 : 水に可溶。

引火点 : 該当なし。

発火点 : 該当なし。

燃焼範囲 : 該当なし。

安定性及び反応性

本品は通常の条件下では安定。熱分解によって、塩化水素、窒素酸化物、硫黄酸化物を生成する。また、本品は、酸化剤、還元剤、アミノ類及びメルカプタン類との接触を防止すること。

有害性情報

腐食性・刺激性(皮膚、眼) : 眼 腐食、重度の障害を起こすことがある。

皮膚 皮膚への刺激は時間をおいて起こることがある。

皮膚から吸収すると、火傷・皮膚腐食・アレルギー性の接触皮膚炎を起こすことがある

感 作 性 : アレルギー性の接触皮膚炎(ヒト)

急性毒性 (50%致死量等を含む) :

: 経口(ラット) LD₅₀ 3350 mg/kg

経皮(ウサギ) LD₅₀ >5000 mg/kg

吸入(ラット) LD₅₀ 0.33 mg/kg

亜急性毒性 : データなし。

慢性毒性 : データなし。

がん原性 : データなし。

変異原性(微生物、染色体異常)

: データなし。

生殖毒性 : データなし。

催奇形性 : データなし。

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)

: なし。

環境影響情報

分解性 : データなし。

蓄積性 : データなし。

魚毒性 : ブルーギル 96 hr LC₅₀ 0.28ppm

廃棄上の注意

液状回収品または固形状回収品は保健衛生上危害を生じる恐れのない場所で、高温の焼却炉で少量ずつ焼却する。

輸送上の注意

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷のないよう積載し、荷崩れを防止する。

適用法令

労働安全衛生規則 : 腐食性液体
船舶安全法 : その他の腐食性物質(液体)
(他の危険性を有しないもの)

その他

* 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の値は保証値ではありません。

* 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。

製品名 3, 3', 5, 5'-テトラメチルベンジジン

組成及び成分情報

化学名 : 3, 3', 5, 5'-テトラメチルベンジジン

成分及び含有量 : D酵素基質溶液に含有

化学式又は構造式 : $[C_6H_2(CH_3)_2NH_2]_2$

官報公示整理番号 : 化審法 ; -

安衛法 ; -

CAS No. : 54827 - 17 - 7

国連分類 : -

国連番号 : -

危険・有害性の要約

GHS分類 : 分類基準に該当せずまたは分類できない。

他の危険有害性情報

有害性 : 皮膚、眼、気道の粘膜を刺激する

応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼した後、速やかに眼科医の手当を受ける。

皮膚に付いた場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、接触部を多量の水で十分洗浄する。

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のところに移し、毛布等で保温して安静にさせ、速やかに医師の手当を受ける。呼吸が停止している場合には人工呼吸を行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行う。速やかに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに医師の手当を受ける。意識のない場合には、口から何も与えてはならない。

火災時の措置

消火方法 : 本品は不燃性であるから、適切な保護具を着用し、周辺火災の消火活動を行う。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火剤 : 水、粉末、泡、炭酸ガス 等

漏出時の措置

漏洩した場合は、出来るだけ空容器に回収する。その後大量の水で洗い流す。

取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 出来る限り密閉式の装置内で取り扱うこと。取扱い時は適切な保護具を着用する。取扱い後は手洗い等を十分に行う。

保管 : 密栓して冷暗所に保管。

暴露防止措置

管理濃度 : 設定なし。

許容濃度 : 日本産業衛生学会 ; 設定なし。

ACGIH ; 設定なし。

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置に明瞭に表示する。

保護具 : 状況に応じて保護眼鏡、ゴム手袋、防塵マスクなどを使用する。

物理 / 化学的性質

外 観 : 白色～淡黄色固体。

比 重 : -

融 点 : 168～169

沸点 : -

粘度 : -

溶解性 : -

引火点 : -

発火点 : -

燃焼範囲 : -

安定性及び反応性

通常の使用条件下では安定

有害性情報

皮膚腐食性: データなし。

刺激性(皮膚、眼): 皮膚刺激有り。眼刺激有り。

感 作 性 : データなし。

急性毒性 (50%致死量等を含む):

腹腔(マウス) LD50 135 mg/kg

亜急性毒性:データなし。

慢性毒性 :データなし。

がん原性 :データなし。

変異原性(微生物、染色体異常)

:データなし。

生殖毒性 :データなし

催奇形性 :データなし。

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)

:なし。

環境影響情報

分解性 :データなし。

蓄積性 :データなし。

魚毒性 :データなし

廃棄上の注意

可燃性の有機溶媒に混合した後、燃焼排ガスの処理対策(スクラパー等)を講じた焼却炉で焼却する。

輸送上の注意

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷のないよう積載し、荷崩れを防止する。

適用法令

該当なし。

その他

* 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の値は保証値ではありません。

* 注意事項等については通常の手続きを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。

製品名 過酸化水素水

組成及び成分情報

化学名 : 過酸化水素

成分及び含有量 : D酵素基質溶液に含有

化学式又は構造式 : H₂O₂

官報公示整理番号 : 化審法 ; 1 - 419 安衛法 ; -

CAS No. : 7722 - 84 - 1

国連分類 : クラス5.1(酸化性物質) 等級

国連番号 : 2014

危険・有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

酸化性液体 : 区分2

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分4

急性毒性(経皮) : 区分5

急性毒性(吸入:蒸気) : 区分3

皮膚腐食性/刺激性 : 区分1A-1C

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1

生殖毒性 : 区分2

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分1(呼吸器・中枢神経系)

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分1(肺) 区分2(血液)

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 区分2

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

火災助長の恐れ : 酸化性

飲み込むと有害

吸入すると有害

重篤な皮膚の薬傷

重篤な眼の損傷

呼吸器・中枢神経系の障害

生殖能または胎児への悪影響の恐れの疑い

長期または反復暴露による肺の障害
長期または反復暴露による血液の障害の恐れ
水生生物に毒性

注意書き

〔予防策〕

蒸気/ミストを吸入しないこと。
保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
異物(アルカリ、重金属、有機物、ゴミ等)を混入させないこと。

〔対応〕

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合、直ちに水などを飲ませ、医師の診断を受けること。
眼に入った場合、直ちに十分な水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断を受けること。
皮膚や衣服に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、皮膚を流水で洗うこと。
可燃物に付着した場合は、水で十分に洗い流すこと。

〔保管〕

可燃物から離して保管すること。
容器を専用栓で密閉して、直射日光を避け、涼しく喚起の良い所で施錠して保管すること。

〔廃棄〕

多量の水で充分希釈してから、亜硫酸ナトリウム等の還元剤、あるいは金属類等と徐々に反応させて分解させる。

他の危険有害性情報

危険性 : 酸素、水素の燃焼生成ガスを発生する。

応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼した後、速やかに眼科医の手当を受ける。
皮膚に付いた場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、接触部を石けん水または水で十分洗浄する。皮膚に炎症を生じた場合は、速やかに医師の手当を受ける。
吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のところに移し、毛布等で保温して安静にさせ、速やかに医師の手当を受ける。呼吸が停止している場合には人工呼吸を

行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行う。速やかに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：直ちに医師の手当を受ける。意識のない場合には、口から何も与えてはならない。

火災時の措置

消火方法：火元の燃焼源を断ち、適切な消化剤を用いて消火する。適切な保護具を着用し、周辺火災の消火活動を行う。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火剤：水、粉末、炭酸ガス等

漏出時の措置

漏洩した場合は、出来るだけ密閉式の空容器に回収する。その後大量の水で洗い流す。

取扱いおよび保管上の注意

取扱い：出来る限り密閉式の装置内で取り扱うこと。取扱い時は適切な保護具を着用する。取扱い後は手洗い等を十分に行う。

保管：直射日光を避け、密栓して冷蔵保存する。

暴露防止措置

管理濃度：設定なし。

許容濃度：日本産業衛生学会；設定なし。

ACGIH；TWA 1 ppm

設備対策：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置に明瞭に表示する。

保護具：状況に応じて保護眼鏡、ゴム手袋、防塵マスクなどを使用する。

物理 / 化学的性質

外観：無色液体で微特異臭がある。

比重：1.11

融点：-26

沸点：106

溶解性：水に全溶

引火点 : -
発火点 : -
爆発限界 : -
蒸気圧 : 30 H₂O₂ 0.27 mmHg

安定性及び反応性

異物が混入しない限り安定。
種々の無機化合物を酸化し、有機化合物に対しても酸化作用がある。
加温、あるいは光により分解して酸素を生じる。
加熱、異物の混入を避ける。

有害性情報

皮膚腐食性:皮膚に付着すると痛みを感じ、表皮に白斑を生じる。
刺激性(皮膚、眼):皮膚、眼に激しい刺激性有り。
蒸気は眼の粘膜炎、角膜熱傷、気道の刺激症状、皮膚の熱傷、
湿疹を起こす。

感 作 性 : データなし。

急性毒性 (50%致死量等を含む):

皮膚(ラット)	LD ₅₀	700 mg/kg
静脈(ラット)	LD ₅₀	21 mg/kg
経口(ラット)		60 mg/kg /日

20日後より発育抑制

慢性毒性 : データなし。

がん原性 : データなし。

生殖毒性 : データなし。

催奇形性 : データなし。

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)

:なし。

環境影響情報

魚毒性 : ヒメダカ TLm 48: 37 ppm
TLm 24: 45 ppm

廃棄上の注意

大量の水と共に放流する。
白金、銀、銅、鉄、クロム、マンガン等 微粒子と接触すると爆発的に分解する。

輸送上の注意

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷のないよう積載し、荷崩れを防止する。

適用法令

労働安全衛生法	: 第1危険物 酸化性の物 施行令第18条の2(名称等を通知すべき有害物)
毒劇物取締法	: 第2条別表 第2 劇物
海洋汚染防止法	: 第1有害液体物質(C類)
危規則	: 第3条危険物 第7条 酸化性物質類
航空法	: 施行規則第194条 第7 酸化性物質類
港則法	: 施行規則第12条 危険物酸化性物質類
PRTR法	: 該当せず

その他

* 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の値は保証値ではありません。

* 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。

製品名 1mol/L 硫酸

組成及び成分情報

化学名 : 硫酸溶液

成分及び含有量 : E 反応停止液13mL中9.8%

化学式又は構造式 : H_2SO_4

官報公示整理番号 : 化審法 ; 1 - 430 (H₂SO₄として)

安衛法 ; -

CAS No. : 7664 - 93 - 9 (H₂SO₄として)

国連分類 : クラス8 (腐食性物質) 等級II

国連番号 : 2796

危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分5

急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト): 区分2

皮膚腐食性/刺激性: 区分1A

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分1

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): 区分1(呼吸器系)

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): 区分1(呼吸器系)

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性): 区分3

危険有害性情報

飲み込むと有害の恐れ

吸入すると生命に危険(粉塵、ミスト)

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

呼吸器系の障害

長期または反復暴露による呼吸器系の障害

水生生物に有害

注意書き

[予防策]

粉塵、ミスト、蒸気などを吸入しない。

喚起の良い場所で使用する。

この製品を使用する時には、飲食または喫煙をしない。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面などを着用する。
取扱い後はよく手を洗う。

〔対応〕

吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合、直ちに口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診断を受ける。
眼に入った場合、流水で数分間洗い流す。コンタクトレンズを着用していても容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。医師の診断を受ける。

皮膚または衣服に付着した場合、汚染された衣類は直ちに脱ぎ、皮膚を流水で洗う。医師の診断を受ける。

暴露した場合、医師の診断を受ける。

気分が悪い場合、医師の診断を受ける。

〔保管〕

容器は密閉して換気の良い場所で保管する。

施錠して保管する。

〔廃棄〕

内容物・容器は関係法令に基づき適正に処理する。

他の危険有害性情報

危険性 : 爆発性、引火性はないが、各種の金属を腐食し、水素が発生した場合は引火、爆発の危険性がある。

応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼した後、速やかに眼科医の手当を受ける。

皮膚に付いた場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、接触部を多量の水で十分洗浄し、速やかに医師の手当を受ける。

吸入した場合 : 速やかに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合 : 多量の水または牛乳を飲ませる。無理に吐かせないで、直ちに医師の手当を受ける。

火災時の措置

消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、適切な消化剤を用いて消火する。適切な保護具を着用し、周辺火災の消火活動を行う。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火剤 : 水、粉末、泡、炭酸ガス 等

漏出時の措置

漏洩した場合は、出来るだけ空容器に回収する。下水溝、公共用水域へ流出させないように注意する。

取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 取扱い時は適切な保護具を着用する。取扱い後は手洗い等を十分に行う。

保管 : 直射日光を避け、密栓して冷暗所に保存する。

暴露防止措置

管理濃度 : 設定なし。

許容濃度 : 日本産業衛生学会 ; 1 mg/m³
ACGIH ; TWA 1 mg/m³
STL 1 mg/m³

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は出来るだけ密閉された装置、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置に明瞭に表示する。

保護具 : 状況に応じて保護眼鏡、ゴム手袋、防毒マスク(酸性ガス用)などを使用する。

物理 / 化学的性質

外観 : 無色液体で酸性を呈する。

溶解性 : 水に混和

引火点 : 不燃性

発火点 : 不燃性

爆発範囲 : 不燃性

安定性及び反応性

通常条件では安定である。

多くの金属に対して化学作用を及ぼす。

日光、熱により刺激性または有毒なガス(硫黄酸化物)を発生することがある。

アルカリ性物質や還元性物質との混触は危険。

有害性情報

皮膚腐食性：皮膚に接触すると薬傷を起こすことがある。

刺激性(皮膚、眼)：眼に入ると失明することがある。

急性毒性 (50%致死量等を含む)：

経口(ラット) LD₅₀ 2140 mg/kg

飲み込んだ場合は、重傷の障害あるいは死亡の原因となる。

慢性毒性：硫酸蒸気またはミストを繰り返し吸入した場合は、上気道炎又は気管支炎になることがある。また、歯牙酸食症を起こすこともある。

がん原性：データなし。

生殖毒性：データなし。

催奇形性：データなし。

環境影響情報

分解性：分解性は良好。

蓄積性：なし。

魚毒性：データなし。

廃棄上の注意

アルカリで中和処理後、多量の水と共に廃棄する。

上記又は許可を得た産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

輸送上の注意

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷のないよう積載し、荷崩れを防止する。

適用法令

労働安全衛生法：施行令別表 第3特定化学物質 第3類物質
施行令第18条の2(名称等を通知すべき有害物)

大気汚染防止法：施行令 第10条 特定物質

海洋汚染防止法：施行令別表 第1有害液体物質(C類)

危規則：第3条危険物別表 第3 腐食性物質

港則法：施行規則第12条危険物 腐食性物質

PRTR法：該当せず

その他

* 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の値は保証値ではありません。

* 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。

製品名 ドデシル硫酸ナトリウム

組成及び成分情報

化学名 :ドデシル硫酸ナトリウム、ラウリル硫酸ナトリウム

成分及び含有量 : 抽出用試薬 55mL中10%、その他B標準品に含有

化学式又は構造式 : $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{11}\text{OSO}_3\text{Na}$

官報公示整理番号 :化審法:2 - 1679

安衛法: -

CAS No. :151 - 21 - 3

国連分類 :該当せず

国連番号 :該当せず

危険・有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分4

急性毒性(経皮):区分3

皮膚腐食性/刺激性:区分2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:区分2B

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):区分3(気道刺激性)

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分2

環境に対する有害性

水生毒性(急性):区分1

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害

皮膚刺激

眼刺激

呼吸器への刺激の恐れ

長期または反復暴露による腎臓の障害の恐れ

水生生物に非常に強い毒性

注意書き

[予防策]

粉塵、ミスト、蒸気などを吸入しない。

喚起の良い場所で使用する。

この製品を使用する時には、飲食または喫煙をしない。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面などを着用する。
使用後は保護具をよく洗う。
取扱い後はよく手を洗う。

〔対応〕

吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合、直ちに口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診断を受ける。
眼に入った場合、流水で数分間洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。医師の診断を受ける。
皮膚または衣服に付着した場合、汚染された衣類は直ちに脱ぎ、皮膚を流水で洗う。医師の診断を受ける。
取り扱った後よく手を洗う。
気分が悪い場合、医師の診断を受ける。
漏出物を回収する。

〔保管〕

容器は密閉して換気の良い場所で保管する。
施錠して保管する。

〔廃棄〕

内容物・容器は関係法令に基づき適正に処理する。

他の危険有害性情報

有害性：低濃度では刺激性は少ないが、界面活性剤の一種で、脱脂作用により、皮膚あれを引き起こす。

応急措置

目に入った場合：清浄な水で最低15分間以上洗眼し、医師の診断を受ける。
皮膚に付いた場合：直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、接触部を多量の水で洗浄する。
吸入した場合：直ちに新鮮な空気のあるところに移し、保温、安静に努める。症状の重い場合には医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の診断を受ける。もし意識のない場合は、水を与えたり、吐かせたりしてはならない。

火災時の措置

消火方法：燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。初期消火では、水噴霧・消火器にて消火する。大規模火災の際には泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。

消火剤 : 水、粉末、泡、炭酸ガス 等

漏出時の措置

飛散したものはかき集めて、容器に回収する。

その後、残りは多量の水で洗い流す。

その際、下水、公共用水域へ流出させないように注意する。

取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 眼、皮膚、着衣への接触を避ける。

保 管 : 直射日光を避け、密栓し冷暗所に保管する。

暴露防止措置

管理濃度 : 設定なし。

許容濃度 : 日本産業衛生学会 ; 設定なし。

ACGIH ; 設定なし。

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具 : 保護眼鏡、ゴム手袋、防塵マスク

物理 / 化学的性質

外 観 : 白色の結晶性粉末。

融 点 : 189.5

比重又は嵩比重 : 0.47 ~ 0.59

溶解度 : 水 30% (25)

引火点 : データなし。

発火点 : データなし。

燃焼範囲 : データなし。

可燃性 : 有り。

安定性及び反応性

通常の実験条件下で安定。

強酸化剤と接触すると反応することがある。

分解して一酸化炭素、硫黄酸化物を生成することがある。

有害性情報

皮膚腐食性:データなし。

刺激性(皮膚、眼)

(ヒト)	25mg/24H MLD(皮膚)
(ウサギ)	25mg/24H MOD(皮膚)
	50mg/24H MLD(皮膚)
	50mg/24H SEV(皮膚)
(ウサギ)	100mg/24H MOD(眼)
	250 μg MLD(眼)
	10mg MOD(眼)

感 作 性:データなし。

急性毒性 (50%致死量等を含む):

経口(ラット)	LD ₅₀ 1288 mg/kg
(マウス)	LD ₅₀ 2000 mg/kg
腹腔(ラット)	LD ₅₀ 210 mg/kg
(マウス)	LD ₅₀ 250 mg/kg
静脈(ラット)	LD ₅₀ 118 mg/kg
(マウス)	LD ₅₀ 118 mg/kg

亜急性毒性:データなし。

慢性毒性 :データなし。

がん原性 :データなし。

変異原性(微生物、染色体異常)

:認められず。

生殖毒性 :データなし。

催奇形性 :データなし。

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む)

:なし。

環境影響情報

分解性 :生分解率95%以上。

蓄積性 :データなし。

魚毒性 :LC₅₀ 1.8mg/L Daphnia agna,46hr

廃棄上の注意

開放型の焼却炉で少量づつ焼却する。

本品は、焼却すると亜硫酸ガスが発生するので注意する。

多量の場合は、許可を得た産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

輸送上の注意

容器・包装に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷のないよう積載し、荷崩れを防止する。

適用法令

該当なし。

その他

* 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の値は保証値ではありません。

* 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。

製品名 2 - メルカプトエタノール

組成及び成分情報

化学名：2-メルカプトエタノール

別名：チオグリコール

濃度又は濃度範囲(含有量)：B標準品 1.8mL 中 0.1%、J抽出用試薬 55mL 中 40%

化学特性(化学式)：HSCH₂CH₂OH

分子量：78.13

官報公示整理番号：2-458

(化審法・安衛法)

CAS No.：60-24-2

危険有害成分：2-メルカプトエタノール

危険有害性の要約

GHS 分類：分類できない(急性毒性物質(旧分類基準(日本方式)による))

他の危険有害性情報

重要危険有害性：引火性、毒性

有害性：眼、鼻、のど、皮膚を刺激し薬傷を生じる。吸入したり、飲み込んだ場合、胸痛、息切れがあり、意識を失うことがある。重症の場合は肺水腫を起こす恐れがある。症状が現れるのが遅れることもある。

環境影響：分解性が良好と判断される化学物質

物理的及び化学的危険性：引火しやすい液体で、蒸気は空気と爆発性混合ガスをつくり、引火爆発の危険がある。火災の熱で容器が爆発する事がある。揮発性物質で、屋内、屋外または下水溝中で火災爆発の危険性がある。

応急措置

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、直ちに医師の手当を受ける。必要に応じて、人口呼吸や酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合：

多量の水および石鹼で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合：清浄な水で最低 15 分以上洗眼したのち、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がいきわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合：多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。直ちに医師の手当を受ける。吐き出したのち、茶匙 2 杯程度の活性炭を水に溶いて与えてもよい。

火災時の措置

消火剤： 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水

火災時の特有危険有害性：

火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。

特有の消火方法：火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。

消火を行う者の保護：

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

漏出時の措置

人体に対する注意事項：

保護具及び緊急時措置 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。不快臭があるので、周辺の住民に漏洩が生じたことを通報する等の適切な処置を行う。

回収、中和： 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は拭き取った後、大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策：

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 火気厳禁。
高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。
目および皮膚への接触を避ける。
- 注意事項： 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
使用後は容器を密閉する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではない。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱い注意事項：

- 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。

保管

- 適切な保管条件： 容器は遮光し、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
- 技術的対策： 換気の良い場所で容器を密閉し保管する。

火気厳禁

- 混触禁止物質： 強酸化性物質、火源の近くに保管しない。
- 安全な容器包装材料： ガラス

暴露防止及び保護措置

- 設備対策： 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。
機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

管理濃度 作業環境評価基準：

設定されていない

許容濃度	OSHA PEL： 設定されていない ACGIH TLV(s)： 設定されていない 日本産業衛生学会： 設定されていない
保護具	呼吸器の保護具： 有機ガス用防毒マスク 手の保護具： 保護手袋 目の保護具： 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型) 皮膚及び身体の保護具： 長袖作業衣、保護長靴

物理的及び化学的性質

外観：	液体
色：	無色
臭い：	特異な不快臭
pH：	データなし
融点：	-40
沸点(初留点)：	157～158 (98.9kPa, slight dec.)
引火点：	66 (タグ密閉式)
自然発火温度：	295
爆発範囲(上限・下限)：	下限; 2.3% 上限; 18%
蒸気圧：	データなし
蒸気密度：	2.7(空気 = 1)
比重：	1.119(20/4)
溶解度：	溶媒に対する溶解性： 水、アルコール、エタノールに易溶。
n-オクタノール/水分配係数 log Po/w：	データなし

安定性及び反応性

安定性：	光、空気により変質する。
危険有害反応可能性：	データなし
避けるべき条件：	日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、その他発火源、空気
危険有害な分解生成物：	一酸化炭素、硫黄酸化物

有害性情報

急性毒性：	経口 ラット LD ₅₀ : 244mg/kg (RTECS)
吸入 ラット LCLo:	250 ppm/8H (RTECS)
経口 マウス LD ₅₀ :	190mg/kg (RTECS)
吸入 マウス LC ₅₀ :	13200 mg/m ³ (RTECS)

皮膚 ウサギ LD₅₀: 150 µL/kg (RTECS)
皮膚腐食性・刺激性: データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性: 目刺激 ウサギ 2mg 重度 (RTECS)
生殖細胞変異原性: データなし
発がん性: データなし

環境影響情報

生態毒性

魚毒性: データなし
残留性 / 分解性: 分解度: 19 % by BOD (経産省既存化学物質安全性点検)
分解度: 17 % by TOC (経産省既存化学物質安全性点検)
生体蓄積性: データなし

廃棄上の注意

残余廃棄物: 燃焼法
可燃性溶剤と共に、スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧して焼却する。
スクラバーの洗浄液はアルカリを使用する。
これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。
汚染容器及び包装: 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

輸送上の注意

国連番号: 2966
品名: (Thioglycol)
国連分類: クラス 6.1 (毒物)
容器等級: PG II
海洋汚染物質: 非該当
注意事項: 輸送前に容器の破損、腐し、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に
行う。
直射日光を避ける。

適用法令

消防法: 危険物第4類 第2石油類 (水溶性) 危険等級 3

毒物及び劇物取締法：毒物 包装等級 2

労働安全衛生法：非該当

船舶安全法 (危規則)：毒物類

航空法：毒物

化学物質管理促進法(PRTR 法)：非該当

その他の情報

引用文献：

危険物防災救急要覧－化学物質の性状と取扱い－ (社)神戸海難
防止研究会編 成山堂書店(1990)

化学大辞典 共立出版(1993)

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM
(2004)

The Merck Index 13th Edition Merck&Co.Inc(2001)

14303 の化学商品 化学工業日報社(2003)

本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。

新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。